



防災J形瓦

エース Ace



台風などの強風被害に備えて令和4年1月1日から瓦屋根の繋ぎ方法が強化されました

- J形
- 防災瓦
- 太陽光パネル対応
- 勾配4寸~対応
- 国産100%
国産粘土100%
- 保証60年
製品本体

意匠性

日本の歴史にはぐくまれた、安らぎの形

柔らかな曲線を描く、日本の歴史に育まれた伝統の形。住まいを格調高く際立たせます。

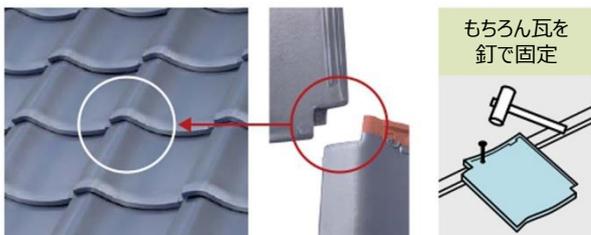
耐風性

かみ合わせ構造で耐震・耐風

瓦同士をかみ合わせがっちり固定し、大地震の揺れや台風の強風にも落ちない、飛ばない崩れない屋根！大切な住まいを守ります。

基準風速地域
最高の **46 m/s**※
でも 余裕の耐風性能

※ 詳細は試験成績書でご確認ください。



▲ かみ合わせ構造が瓦同士をがっちり固定



銀鱗 (ギンリン)



銀鱗 (ギンリン)

カラーバリエーション

色名
マンセル値

Standard Color スタンダードカラー



マンセル値について

瓦は焼成によって発色しているため、同じ瓦色であっても製造ロット、製造工場、製造条件等によって色がわずかに異なる場合があります。そのため、上記マンセル値は弊社で販売している補修用ペンキの色をもとに作成した参考値で、実際の瓦色とは異なる場合がございます。景観条例等の適合性については、各地方自治体等に現物サンプルを提出するなど、ご相談・ご確認ください。

Premium Color プレミアムカラー

※販売終了 2024年3月末日



安全に関するご注意

当社製品を使用される際は「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づく施工を推奨します。なお、粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。(地域・ハウスメーカー毎に施工方法が異なる場合があります。)

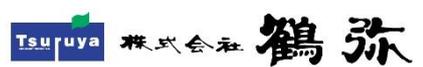
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 施工後、専門工事業者以外の方が屋根面に登ることは落下等非常に危険です。また、雨漏り等の原因になることもありますので絶対に登らないでください。
- 陶器瓦表面はガラス質であり、滑りやすいため、特に朝露・雨など表面が濡れている場合は危険ですので絶対に屋根面に登らないでください。

不燃材

瓦は建設省告示第1400号（最終改正国土交通省告示第1178号）に不燃材として認められています。

■ 三州瓦製造・販売

■ 特約店



本社 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12
TEL.0120-817-268 ホームページ:www.try110.com

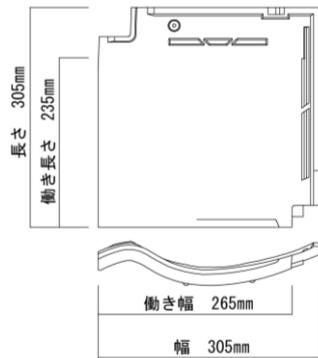
- 営業部 TEL.0569-29-4999 FAX.0569-28-5566 (販売・価格)
- 北陸支店 〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地
TEL.0766-69-1268 FAX.0766-69-7268
- 仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35
TEL.022-254-1580 FAX.022-254-1581



■ エース 製品仕様

長さ	305 ± 4mm	幅	305 ± 4mm
働き長さ	235 ± 4mm ^{※1 ※2}	働き幅	265 ± 4mm ^{※1}
重量	2.6 kg / 枚 (41.6 kg / m ²)		
葺き枚数	53枚 / 坪		
梱包枚数	468枚 / パレット (4枚 / 束)		

※1 瓦の割付をする場合、現物で寸法を確認し割付を行ってください。
 ※2 働き長さが235mmの場合は、流れの瓦割付は237mmを目安で行ってください。



■ 標準屋根勾配とその流れの長さ

標準屋根勾配	その流れ長さ
4.0/10	8m
4.5/10	10m
5.0/10	12m
6.0/10	18m

【注】エースを安心してお使いいただくための標準値です。上記以外の勾配に関しては、工事業者に確認ください。

■ 製品リスト (抜粋)

平部	エース棧瓦	7.5寸エース特長瓦	8.25寸エース棧瓦	9.25寸エース幅広棧瓦	エース雪止	特雪止 (7寸5分巾)	幅広雪止
	19301 	19303 (色限定) 	19307 (銀鱗、ブラックのみ) 	10171 (銀鱗、ブラックのみ) 大の表示あり 	19306 	10113 (銀鱗、ブラックのみ) 	10176 (銀鱗、ブラックのみ) 表面にWの表示あり

袖部	袖右	袖左	引掛紐付袖右	引掛紐付袖左
	10301 	10302 	10338 	10339



J形瓦用施工要領書
 (発行：一般社団法人
 全日本瓦工事業連盟)



施工事例

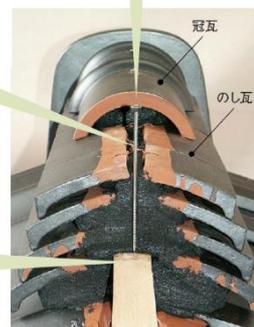
軒部	万十	引掛万十軒	幅広万十軒	万十角右	万十角左
		10235 	10270 (銀鱗、ブラックのみ) 	10601 	10602
	安定万十	安定万十軒 (3寸)	安定角右 (3寸)	安定角左 (3寸)	
	10233 	10694 	10695 		
切隅部	万十トビ	万十切隅羽根大	万十切隅羽根小	雀巴	
	10501 	10504 	10505 	10503 	
真一文字軒	真一文字軒	真一文字角右	一文字軒	一文字角右	一文字角左
	10250 	10621 	10212 	10624 	10625

ガイドライン
 工法で
 耐震

バック付ステンレスねじで
 しっかり留め付け!

のし瓦も緊結用線で
 固定

棟金具で垂木を
 がっちり固定!



※棟部分は、地域によって仕様が異なります。

棟部	厚のし	江戸 (6寸丸)	細丸 (5寸丸)	7寸丸	伏間	素丸 (5寸)	6寸素丸	F1冠瓦
	10701 	10801 	10802 	20801 	10803 	10804 	10812 	70801

鬼瓦	5・6・7寸足付鬼	5・6・7寸一文字鬼	カエス5・6・7寸足付鬼	カエス5・6・7寸一文字鬼	又ギ巴
	11202 11203 11204 	11302 11303 11304 	11402 11403 11404 	11502 11503 11504 	10901

製品に関するご注意

粘土瓦は天然原料を使った自然素材であるため、下記の要因が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく粘土瓦製品としての一般的な性質であり、屋根材としての品質上は問題ありませんので安心してご使用ください。また、人体に有害なアスベスト(石綿)は一切含まれておりません。

■ 色ムラ

粘土成分の違いや、気圧など気象条件による、焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。

■ ネジレ、寸法

焼き物特有の若干のネジレ、寸法のバラッキにより施工時に瓦と瓦の間に若干の隙間が発生する事もあります。

■ 貫入 (かんにゅう・表面亀裂)

瓦には貫入 (かんにゅう) と呼ばれる、釉薬表面に細かい亀裂が発生している場合があります。窯から出た直後に発生する貫入状態を直接貫入といいますが、釉薬と素地 (粘土) の収縮が同じ程度に調合した色の瓦は直接貫入の発生は少なく、施工後徐々に貫入が発生します。これを経年貫入といいますが。

■ ピンホール

瓦には釉薬表面にピンホールと呼ばれる小さい穴みや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物 (イロ木、小石等) などで焼成時に発生するものです。(特に粘土に含まれる小石は、瓦の強度を保つために必要不可欠な素材ですが、焼成時には陥没しピンホールの原因となります。)

■ 虹彩現象 (こうさい)

瓦表面に雨水などが汚れとして付着し、これが平滑な薄膜状となった時、光の干渉で虹色に見える現象です。このような現象は瓦全般に発生しますが濃い色の釉薬に特に目立ちやすいという特徴があります。

詳しくはこちら

